

JCMA 報告

2011 ふゆトピア・フェア in 札幌 「除雪機械展示・実演会」 開催報告

今年は各地で大雪に見舞われておりますが、札幌も例外ではなく除雪が間に合わないほどの降雪に見舞われました。しかし、「除雪機械展示・実演会」開催期間中は天候に恵まれるという好条件で平成23年1月21日(金)～22日(土)の2日間にわたり札幌の豊平川河川敷で開催されました。

昨今の私達を取り巻く経済状況が厳しい中、日本を代表する除雪機械メーカ、トラックシャシメーカなど8社と(独)土木研究所寒地土木研究所の協力を得て、豊平川の河川敷もどうにか展示会場らしくなりました。また、初日には国内初の除雪車チャンピオンシップ(除雪機械操作技術競技会)も同時開催され、マスコミ関係者をはじめ、近隣の市町村や各地から多数の見学者が見守るなか、17名の競技者により運転操作技術が競われました。

1. 日時 平成23年1月21日(金) 10:00～16:00
平成23年1月22日(土) 10:00～15:00

2. 会場 豊平川南大橋下流左岸豊平川緑地

3. 出展会社・機関

【除雪機械・機器出展者】

UDトラックス(株)、開発工建(株)、(株)協和機械製作所、新潟トランス(株)、(株)日本除雪機製作所、範多機械(株)、日野自動車(株)、(株)パトライト、(独)寒地土木研究所

【情報化施工出展者】

(株)岩崎、(株)ジェノバ、(株)ニコン・トリンプル、ニシオレントオール北海道(株)、日本GPSデータサービス(株)

4. 来場者数 1,900人

1月21日(金) 1,200人

1月22日(土) 700人

オープニングセレモニーは、国土交通省の渡辺建設施工企画課長、北海道開発局田高機械課長、宮木北海道建設部長、渡辺札幌市建設局長、出展者代表としてUDトラックス北海道大内社長、当協会会長、熊谷北海道支部長にご参列いただきテープカットが行われました(写真-1)。



写真-1 来賓者によるテープカット

展示会場は、朝に降っていた雪も昼にはあがって日が差し、沢山の方が会場に見えられました。会場内では、普段、近づいてじっくり見る事ができない大型ロータリー除雪車の運転席に乗り込んだり、興味深く説明を聞いていかれる見学者がたくさん見られました(写真-2～4)。



写真-2 大型ロータリー除雪車に見入る見学者



写真一三 展示会場風景一



写真一六 ハイブリッドロータリー除雪車によるデモンストレーション



写真一四 展示会場風景二



写真一七 小型作業車にロータリー装置を付けた「とらん丸」の除雪

会場内の真ん中で、各社の代表する大型ロータリー除雪車やハイブリッドロータリー除雪車、また、かわいらしい小型作業車の除雪など、デモンストレーションが行われ、その迫力に見学者は感心して見入っていました（写真一五～七）。

今回は、急遽、情報化施工関係のメーカーにもお願いして、休憩所内に情報化施工のパネル展示をしていただきました。休憩所は、チャンピオンシップの参加者の控え室も兼用になっていたため、多くの出場者が、興味深く説明を聞いていました（写真一八、九）。



写真一五 大型ロータリー除雪車の迫力ある除雪作業



写真一八 色々なことができる情報化施工の技術に興味を示す見学者



写真一〇 情報化施工のパネル展示の説明を聞いている見学者



写真一一 紅一点、川中さんの競技風景

また、新たな試みとして「除雪車チャンピオンシップ（除雪車操作技術競技会）」を企画しました。除雪車チャンピオンシップは、国際的には2010年2月にカナダのケベック市で行われた第13回PIARC国際冬期道路会議にあわせて開催されましたが、国内では初めての試みとなります。

これまでは、除雪機械オペレータは普段市民の目から離れたところで活躍し、企業間においてもあまり連携や技術協議のようなことはなされていませんでした。

そこで、①仕事の手順や手法に関してオペレータ間の情報の共有を促すこと②競技関係者の認識と競技参加者の技術レベルを高めること③安全に適正な速度で操作し、除雪精度を高めることがいかに重要かを実感することなどを目的に開催したものです。

開催地の札幌市を中心とした国道、道道、市道の道路除雪作業を請け負っている会社から推薦を受けた腕に自信のある22歳から68歳のベテランまでオペレータ17名が参加して、操作技術が競われました（写真一〇）。中には紅一点、女性のオペレータも参加し、

注目を浴びていました（写真一一）。

全長300mのコースに7つの関門を設け、操作の正確性やスピードなどを100点満点で採点し、高得点の総合97点を出した木村敏文さん（株基津綜業・千歳市）が初代チャンピオンに輝きました（写真一二、一三）。



写真一二 チャンピオンシップの表彰式



写真一〇 並べられたパイロンの間をすり抜ける除雪ドーザー



写真一三 レポーターのインタビューを受ける受賞者

競技終了後、表彰式が行われ、主催者である(社)日本建設機械化協会の辻会長より賞状とトロフィーが授与され、会場からの暖かい拍手に、受賞者の皆さんは照れくさそうにされていました。まだまだ続く除雪作業に、このようなすばらしい技術を発揮して、かつ安全に作業をしていただければと期待しております。

開催2日目には三井副大臣が会場を訪れ、新型のハイブリッドロータリー除雪車や寒地土木研究所のロータリー除雪車を活用した路面清掃装置などを興味深くご覧になっていかれました(写真-14)。



写真-14 ハイブリッドロータリー除雪車の説明を受ける三井副大臣

開催にあたり、国土交通省北海道開発局、北海道、札幌市、会場周辺にお住まいの皆様をはじめ開催関係者ほか多数の方々のご協力をいただきました。お陰様で沢山の皆さんに会場を訪れていただき、無事、終了することができました。ここに深く感謝申し上げます。

JCMA

平成23年度 建設機械施工技術検定試験のお知らせ

平成23年度1・2級建設機械施工技術検定試験を次の通り実施いたします。詳細は下記の当協会ホームページを参照、または電話による問合せをしてください。

■**申込み方法** ※申込みは郵送のみ。

所定の受検申込み用紙に必要事項を記載し、添付書類とともに郵送。平成23年2月上旬から、受検申込み用紙等を含む「受検の手引」一式を当協会等で販売します。

■**申込み受付期間**

平成23年3月11日(金)から4月8日(金)まで

■**試験日**

学科試験：平成23年6月19日(日)

実地試験：平成23年8月下旬から9月中旬(※学科試験合格者のみ受検可。日程は8月上旬に決定、通知予定)

■**詳細問合せ先**：当協会 試験部 TEL：03-3433-1575

社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 (機械振興会館)

Tel. 03 (3433) 1501 Fax. 03 (3432) 0289 <http://www.jcmanet.or.jp>